

寅さん歩 その26

東京の主要道路の起点～終点



海岸通り－2

平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環七通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」と歩いてきました。

今回は「海岸通り」を歩いています。海岸通りは港区東新橋の昭和通りの蓬莱橋交差点を起点に、環七通りの先大田区平和島に至る延長約11kmの道です。写真右上は海岸通り起点の道路名標識（都道316号線）です。沿道は物流施設と汐留シオサイト、天王洲アイル、品川シーサイドなどの新しい街が誕生しています。「海岸通り」の通称は東京では道路の通称だけですが、横浜・大阪・神戸など全国の地名や道路に見られます。また伊勢正三作詞・作曲でイルカが歌う「海岸通り」の歌もあります。前回は起点から港南小前交差点まで歩きました。

今回は港南小前交差点から終点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[港南小前交差点]

港区港南四丁目 最寄駅 JR 品川駅港南口

港南小前交差点（写真下左）を右へ行くと J R 品川駅港南口です。
海岸通りは右側の東京海洋大学 品川キャンパス（写真下右）を見ながら直進
します。寅さん歩 211 東京の学食めぐり-17 をご覧ください。



[天王洲大橋] 港区港南四丁目・品川区東品川二丁目

最寄駅 J R りんかい線 天王洲アイランド駅

天王洲運河にかかる天王洲大橋（写真下左）を渡ります。写真下右は橋から京
浜運河方面を見ました。天王洲大橋の中心が港区と品川区の境になります。



[天王洲アイランド交差点] 品川区東品川二丁目

最寄駅 J R りんかい線 天王洲アイランド駅

天王洲アイランド交差点（写真下右）で都道 480 号線と交差します。海岸通りは右
の鮫洲方面（写真下左）へ曲がります。左へ行くと品川ふ頭方面です。品川ふ
頭は日本初のコンテナふ頭です。

品川ふ頭橋を渡ると東京電力（株）品川火力発電所があります。



江戸時代末期に江戸防衛のために埋め立てられる前の「天王洲」は、海中の土砂が堆積してできた洲でした。1751年（宝暦元年）江戸前が海であった頃、漁師の網に「牛頭天王」の面が入り、引き上げられました。この面は南品川の天王祭の神輿の屋根の「神面」となり、このいわれが地名の「天王洲」の由来です。「アイル」とは英語の「島」のことで東京湾ウォーターフロントの良き景観に恵まれたロケーションであったため「天王洲アイル」と名付けられました。寅さん歩 95 江戸・東京の祭—24（江戸らしい祭—9）天王祭 荏原神社例大祭をご覧ください。天王洲アイル交差点で右折、写真下左の道を進むと、新東海橋（写真下右）です。



[新東海橋交差点] 品川区東品川一丁目

最寄駅 京急本線 新馬場駅

写真下左は新東海橋左側から見た左側の天王洲運河です。新東海橋交差点（写真下右）は山手通りの起点で新馬場駅方面へ向かいます。海岸通りは左折します。新東海橋交差点から海岸通りの道路名は国道 357 号線となります。

交差点右は旧海岸通りです。



[昭和橋] 品川区東品川三丁目

最寄駅 京急本線 新馬場駅

昭和橋（写真下左）で目黒川が天王洲南運河（写真下右）に合流します。



[東品川三丁目交差点] 品川区東品川三丁目

最寄駅 京急本線 新馬場駅



東品川三丁目交差点（写真左）は左へ行くと天王洲通り・京浜運河方面、右へ行くと元なぎさ通り・第一京浜（国道15号線）方面です。

[北ふ頭橋] 品川区東品川三丁目

最寄駅 JRりんかい線 品川シーサイド駅

北ふ頭交差点（写真下左）でジュネーブ平和通りと交差します。左へ行くと大井ふ頭、右へ行くと旧東海道で江戸六地蔵の品川寺（ほんせんじ）があります。ジュネーブ平和通りとは 1867 年（慶応 3 年）のパリ万博に出品して以来、行方不明になった品川寺の梵鐘がスイス ジュネーブの美術館で見つかり、1930 年（昭和 5 年）に返還された縁で、品川区とジュネーブ市が姉妹都市となりました。それを記念してジュネーブ平和通りと命名されました。交差点左は品川シーサイドパークで商業地・オフィスビル・マンションが建ち並んでいます（写真下右）。



[八潮橋交差点] 品川区東品川四丁目

最寄駅 京急本線 青物横丁駅

八潮橋交差点（写真下右）で国道 357 号線は左折、海岸通りは都道 316 号線に戻ります。右は都道 420 号線になり第一京浜方面です。



[鮫洲橋] 品川区東大井一丁目

最寄駅 京急本線 青物横丁駅

左側は鮫洲運転免許試験場です。その先が「鮫洲橋」(写真下左)があります。鮫洲橋で右から来た勝島運河と前方の京浜運河が合流(写真下右)します。



[勝島ポンプ所] 品川区勝島一丁目

最寄駅 京急本線 立会川駅

左側に東京都水道局の「勝島ポンプ所」がありました。写真下右の図で桃色の部分は勝島ポンプ所などの排水区域です。品川区・目黒区・大田区を浸水から守っています。



[勝島一丁目交差点] 品川区勝島一丁目

最寄駅 京急本線 立会川駅

勝島一丁目交差点(写真下右)で海岸通り(都道316号線)は右折して平和

島・昭和島方面へ向かいます。直進すると大井ふ頭・八潮方面です。



[新浜川交差点] 品川区勝島一丁目 最寄駅 京急本線 立会川駅

新浜川交差点（写真下右）で左へ行くと勝島橋・大井ふ頭方面、右へ行くと第一京浜（国道15号線）方面です。



[大井競馬場] 品川区勝島二丁目 最寄駅 京急本線 立会川駅



左側に大井競馬場(写真上左右)がありました。1950年(昭和25年)5月開場の地方競馬場で、東京シティ競馬の愛称で日本初のナイトー競馬を開催。ゴールの写真判定、枠別の着帽色を初めて採用、ワイド馬券も日本で最初に発売開始しています。

〔勝平橋〕 品川区勝島三丁目/大田区平和島一丁目

最寄駅 京急本線 大森海岸駅

勝島南運河にかかる勝平橋(写真下左)は品川区と大田区の区境です。写真下右は橋から見る大井競馬場です。



〔平和島立体交差点〕 大田区平和島六丁目

最寄駅 東京モノレール 流通センター駅

トラックターミナルや団地倉庫などの物流施設が立ち並びます(写真下左)環七通り(都道318号線)と立体交差します。平和島は埋め立ての人工島です。戦時中は連合国の捕虜収容所、戦後一時は東条首相らの戦犯の一時収容所がありました。平和の願いを込めて「平和島」と呼ばれる地名になりました。



[南海橋] 大田区平和島六丁目 最寄駅 東京モノレール 昭和島駅

南海橋手前が海岸通りの終点です。写真下左は南海橋から見た平和島方面です。白い建物は東京流通センターです。南海橋先の昭和島駅から東京モノレールに乗り JR 浜松町駅へ帰りました。写真下右はモノレールからの大井競馬場です。



海岸通りを起点から終点まで歩いて次々に異なった風景が現れて来たことに驚きました。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースが FWA ホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で 2021 年（令和 3 年）9 月から歩きました。寅さん歩 379 令和 3 年 10 月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。連絡を取り合って、どこかの宿でバーチャル宴会をしたいですね。皆様の旅の進度のご連絡をお待ちしています。

2023 年 8 月 8 日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023 年 8 月 10 日川崎宿（現在の神奈川県川崎市川崎区）（江戸日本橋から 18 km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。

各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



写真上左は「川崎六郷渡舟」です。六郷は東京都と神奈川県を流れる多摩川の河口部が大きく湾曲した土地にあります。江戸時代初期にかけられた橋は大水で何回も流され、その後は舟での渡しになりました。

写真上右は「久寿餅（くずもち）」です。江戸時代から、一般に「厄除け大師」として信仰を集める川崎大師の門前で売られている名物です。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝